

クリーンアップ推進員会議

日 時：令和 7 年 6 月 6 日（金）18 時 00 分～
会 場：北ガス文化ホール 4 階大会議室



令和 7 年度第 1 回クリーンアップ推進員会議が開催され、40 名の推進員の皆さまにご出席いただきました。ご多忙の中ご参加いただきありがとうございました。

当日は、来賓として渡邊千歳市市民環境部長、倉重環境センター長をお迎えし、事務局より「令和 6 年度の集団資源回収の実績」、「令和 6 年度クリーンアップ推進員会事業報告」、「令和 7 年度の事業計画」について説明を行いました。また、今年 5 月からの新任に伴い前田会長をはじめ 5 名の方々が再任されました。

新役員の紹介

会 長 前田 共章さん（柏陽町内会）
副会長 長沼 道夫さん（おさつ団地町内会）
幹 事 山林 昭夫さん（富丘 3 丁目北町内会）
幹 事 福本 英子さん（富丘 4 丁目東町内会）
幹 事 藤田 弘子さん（新富東町内会）

任期期間よろしくお願いします。



クリーンアップ推進員永年功労表彰について

クリーンアップ推進員永年功労表彰とは、7 年以上にわたり推進員としての職務に精励された方を対象に、推進員会役員会から財団理事長へ推薦され、表彰されるものです。本表彰は財団の事業の一環として実施されています。

令和 7 年度は 1 名の推進員の方が表彰対象となりました。例年、クリーンアップ推進員会議の冒頭にて、推進員の皆さまの前で表彰を行っておりましたが、今年度は報告のみとし、後日、当財団の松本淳一理事長より感謝状と記念品が贈呈されました。

受賞された方には心よりお祝い申し上げます。今後とも、町内会・自治会等と財団との連携にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和 7 年度推進員として永年功労により表彰された方

・浅見 七江 様（みどり団地 2 号棟自治会）



第42回リサイクルフェスティバル

日時：令和7年10月4日（土）10時～14時
会場：千歳市グリーンベルト
（幸町おまつり広場・千代田町つどいの広場）

国の「3R推進月間」である10月に合わせて、ごみの減量化と資源の有効利用をテーマに、物を大切にする意識の向上や再資源化に向けた啓発を目的として、「第42回リサイクルフェスティバル」を開催しました。

当日は天候に恵まれ、最高気温22.8度という過ごしやすい気候の中、大勢の市民の皆さまにご来場いただきました。誠にありがとうございました。

リサイクルフェスティバルでは、6名の推進員の皆さまに、イベント会場の設営や「リサイクル自転車無料抽選会」の補助、資源回収啓発コーナーでの対応など、多岐にわたりご協力いただきました。

中でも市民の皆さまに特に人気のあるイベントのひとつが「リサイクル自転車無料抽選会」です。千歳市民の皆さまを対象に、簡易補修した自転車を無料でプレゼントするこの抽選会には、午前の部の20台の抽選に対して355名の応募があり、平均倍率は約17.8倍となりました。午後の部では20台に対して273名の応募があり、平均倍率は約13.7倍という高い関心を集めました。

その他にも、集団資源回収や古衣料回収をテーマにしたクイズラリーも開催しました。全問回答するとガラポン抽選の参加権が得られ、1等には簡易補修した自転車など豪華商品が当たる仕組みとなっており、多くのご家族連れで賑わいました。

フェスティバル終了後には、推進員の皆さまに会場の後片付けや清掃にもご協力いただきました。皆さまのご尽力に心より感謝申し上げます。

お手伝いいただいた推進員の方々の様子



【ご協力いただいた6名の推進員】

前田 共章さん、長沼 道夫さん、山林 昭夫さん
福本 英子さん、藤田 弘子さん、柿崎 美代子さん

お忙しいところ、ありがとうございました！



市民の皆さまに大人気の「自転車無料抽選会」や「クイズラリー」の他にも、ステージでは、和太鼓TEAM「千舞泉美太鼓」の力強い演奏や、ダンススタジオ「studio FIT」による感動的なダンスパフォーマンスが披露され、会場を盛り上げました。

また、キッチンカーやフリーマーケットの出店、「段ボール生ごみ堆肥化セット」展示・無料配布、使用済み小型家電・古衣料の回収ブース、千歳産野菜の販売、食品の寄附受付とフードバンク活動の紹介など、多くの出店が並び、来場された皆さまが楽しく過ごせる内容となりました。スタッフとして株式会社カミノの社員の方々にもご協力いただきました。

運営するスタッフ一同、力を合わせて取り組みますので、次年度もぜひご参加いただきますよう、心よりお待ちしております。

クリーンアップ推進員研修会

日 時：令和7年10月17日(金) 9時25分～15時50分
参加者：推進員他17名、財団職員4名

【いわみざわ環境クリーンプラザ いわ☆ぴか (岩見沢市)】

同施設は、岩見沢市以外に近隣自治体である美瑛市と月形町の「燃やせるゴミ」や「大型ゴミ」の処理を行っています。

ごみの処理過程で発生する副産物について臭気を含む空気は完全燃焼で分解され、排ガスは有害物質を除去したうえでクリーンなガスとして排出されます。また、灰は無害化処理を施し、最終処分場にて埋め立て処分されるなど、様々な技術を用いて環境に配慮した方法で処理している様子を施設の職員の説明によって分かりやすく学ぶことができました。



【エコパーク三笠 (三笠市)】

家庭から排出される容器包装プラスチックごみは、「容器包装リサイクル法」に基づき、消費者・市町村・事業者がそれぞれ役割を担い、責任を分担して処理されています。

この施設では、家庭などから分別された廃プラスチック製容器包装品を自治体が収集し、選別しサイコロ状に加工、同工場に運搬しています。エコパーク三笠では、搬入された容器包装品を種類ごとに選別し、破碎・洗浄・脱水・乾燥の工程を経て、再使用可能な製品として加工、各種工場へ出荷しています。

今回の研修会を通じ、更なる知識を深める貴重な機会となりました。



紙パック分奨励金(令和6年度分)寄附のご報告

令和7年5月15日(木) 社会福祉法人千歳市社会福祉協議会法人本部事務所にて贈呈

令和6年度末時点で、集団資源回収における紙パック分の奨励金を社会福祉事業への寄附に賛同している団体は、134の町内会・自治会等となっています。

令和6年度分の紙パック奨励金は39,174円となり、賛同団体を代表し旭ヶ丘町内会の荒洋一会长より千歳市社会福祉協議会の三崎直彦常務理事兼事務局長へ目録が手渡されました。

寄附は今回で16回目となり、累計金額は774,244円に達しました。皆さまからの善意は、福祉機器の購入資金として活用され、地域福祉の向上に貢献しています。

今後とも皆さまのご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。



写真左から、
千歳市社会福祉協議会 三崎 直彦 常務理事兼事務局長
旭ヶ丘町内会 荒 洋一 会 長
ちとせ環境と緑の財団 松本 淳一 理事長

財団からお知らせ

クリーンアップ推進員会議で寄せられた質問

6月に開催されたクリーンアップ推進員会議において、参加者の皆さまから寄せられた質問とそれに対する回答をまとめた内容を掲載いたします。今後の推進員活動の参考資料として、ぜひご活用ください。

質問 推進員の職務に関する説明で「町内会の回覧などを使用し周知徹底を」とあったが、現在、町内会加入率の低下により、回覧板での情報伝達が難しくなっています。企業進出で転入者も増え、資源物の保管場所や出し方が分からず、4種資源物収集日にごみステーションへ出す人が多く、集団資源回収の回収率が下がっています。

そこで、転入時の資料に町内会ごとの資源回収方法を大きく簡潔に記載したチラシを1枚増やすことを提案したい。現行の啓発チラシは情報量が多く、転入者には読まれにくいのではないかと。

事務局 町内会の加入率低下により、回覧板が全世帯に届かない状況は把握しています。今回の推進員の職務に関する説明は、可能な範囲で多くの方に伝わるよう、情報伝達手段の1つとして回覧板を活用していただきたいという趣旨です。

6月に生活情報誌「ちゃんと」に集団資源回収の啓発チラシを折り込み、全戸配布しました。転入者の動きが落ち着く時期を見計らって、多くの方の目に留まったと考えています。

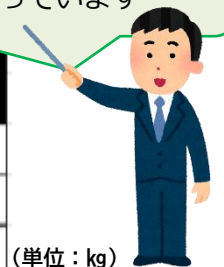
なお、町内会ごとに資源回収方法をチラシで周知するのは現実的に困難です。お問い合わせには、町内会から提供された情報をもとに、財団が回収日時や方法をご案内しています。必要に応じ、地域事情に詳しい推進員へ引き継ぐなど、今後も推進員の皆さまと連携しながら対応していきます。

令和7年度上半期(4月～9月)の集団資源回収実績の中間報告

古紙類、リターナブルびん、金属類、紙パックすべて前年度比はどれも下回っています。特に雑誌、リターナブルびん、鉄くずは大きく下回っています

	古紙類				リターナブルびん	金属類			紙バック	合計
		新聞紙	雑誌	段ボール		空き缶	鉄くず			
令和7年度	750982.0	379922.0	78681.5	292378.5	498.4	54512.4	36736.8	17775.6	4887.6	810880.4
令和6年度	793012.0	402921.5	91428.5	298662.0	606.2	61206.8	39808.8	21398.0	5319.6	860144.6
前年度比	94.7%	94.3%	86.1%	97.9%	82.2%	89.1%	92.3%	83.1%	91.9%	94.3%

(単位: kg)



財団からお願いします

放置自転車の処分にはご注意願います。また、私有の自転車を処分する場合、防犯登録の抹消手続きを忘れずに。

放置自転車の中には、防犯登録の抹消がされていないものや、盗難車両の可能性のあるものもあります。これらが無断で処分すると、後日トラブルになる恐れがあります。

放置自転車を見かけた際は、警察にご相談ください。

また、私有の自転車を処分する際は、警察署や交番で防犯登録の抹消手続きを行ってから処分してください。必要書類など詳細は、お近くの警察署・交番へお問い合わせください。

皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。



【クリーンアップ推進員だよりに関するお問い合わせ先】

公益財団法人ちとせ環境と緑の財団 事業課資源振興係（推進員事務局） 担当：佐藤・川瀬

TEL：0123-26-1213、FAX：0123-22-1118、e-mail：shigen@chitosekankyou-midori.or.jp